



第27回個性づくりテーマ展示

部落問題



展示期間 10月31日～12月24日

展示場所 南台図書館2階 展示コーナー

そもそも「部落」とはどのようなものなのでしょうか？

近年、都市部においては近隣同士の人づきあいが稀薄になり、部落差別は現在ほとんど意識されることがなくなったようにも思われています。本当にそうなのでしょうか。

部落に対する考え方やその歴史を遡り、何が問題となっているのか、さらに部落問題からどのような事が生じているのかを考えてみたいと思います。

中野区立南台図書館

03-3380-2661

～部落とは～

そもそも「部落」とは、いわゆる「集落」などを意味する言葉であるが、賤民が住んでいた集落や地域を称するようになり、被差別部落を略した呼び名として差別する言葉としても用いられるようになった。

～部落問題～

部落問題とは被差別部落出身者に対する差別問題である。被差別部落とは、「身分・職業・居住が固定された前近代に穢多・非人などと呼称されたあらゆる被差別民の居住集落に歴史的根拠と関連をもつ現在の被差別地域である」と定義され、歴史的には諸説あるが、今からおおよそ350～400年ほど前の江戸時代前ぐらいにさかのぼるものとされている。

中世の末期は土一揆や一向一揆などの民衆の抵抗があったため、その後の時代を掌握した者たちが社会秩序の維持のために部落を含む身分制度を作ったと考えられている。その際に部落は中世末期に存在していた「河原者」などの被差別民や皮革業者などによって構成されたと考えられる。

その後明治維新までの二百数十年間虐げられてきたが、1871（明治4）年8月28日「解放令」（賤民廃止令）によって部落の人々は一応、法律上・制度上「平民」同様となった。ただ身分階層構造が出来たことや低賃金労働によって急速な発展を遂げようとした日本資本主義のあり方に深く関連して、近世の「穢多」身分に対する封建的身分差別が近代社会の中に組み込まれ、部落差別として形を変えながら現代に至ると考えられる。

こうした近代の部落差別に対して部落の人々は「解放令」のもと差別がなくなるよう闘いつづけ、1922（大正11）年3月3日に部落の青年たちが中心となって全国水平社の設立にいたった。以来八十年余りにわたって差別糾弾を中心とする不屈の闘いが展開され、部落の劣悪な生活環境の改善、就職保障、教育保障、差別意識の克服などにおいて、多くの成果を勝ち取ってきたのである。



～全国水平社～

明治維新後に出された「解放令」によって、被差別部落民は形の上では封建的な身分関係から解放されたが、実際にはさまざまな差別が残り多くの部落民は文明開化・殖産興業・富国強兵が進行していく中で貧困に苦しんでいた。これを解決するため融和運動が提唱されたが、それは差別の原因が部落の劣悪な環境や教育水準にあるとし、富裕層の力を借りての部落の経済的向上を目指し、また部落民の意識を高め部落外の人々の同情と理解を求めることで差別を無くそうとするものであった。第一次世界大戦中のロシア革命や米騒動の影響を受け、従来の融和運動に飽き足らない部落の青年たち（西光万吉、阪本清一郎、駒井喜作ら）は自分たちの力で部落の解放を勝ち取る運動を構想し始め、ピューリタン革命の最左派であった水平派にちなんで新たな運動団体を「水平社」と命名し創立した。第二次大戦中に一度は活動自体が消滅したが、後の部落解放全国委員会および部落解放同盟につながっていった。

～橋のない川～

水平社宣言をもって締めとしている作品である住井すゑ著の『橋のない川』は、明治時代後期の奈良県のある被差別部落（小森部落）が舞台で、ほとんど全編を通じて部落差別の理不尽さ並びに陰湿さが書かれている作品である。

住井すゑは『橋のない川』について「私の作品は、差別をなくし、部落解放をするために書いたものです」と自ら言う通り、あくまでも差別に反対し、人間の命や平和の尊さを訴え続けたもので、それはライフワークにふさわしい大仕事となった。1～7部合わせて800万部以上読まれたロングセラーである。

物語は、奈良盆地の農村を背景に、日露戦争で父を失った主人公の誠太郎、孝二の幼い兄弟が貧しくとも、母と祖母の温かい手に守られて、素直に成長するのであるが、小森という被差別部落に生まれたため、いわれのない差別を受け、穢多と呼ばれ、醜い卑しいものの如くみなされたのである。2人は成長するに従って、自分たち部落を包む不安な環境、それは差別が親から子へ、子から孫へと引き継がれ、逃れようのない苦しみを負い続けることであり、その不条理を打破するため差別との闘いを敢然と始めるのである。彼らの闘いは平等と人権のためであり、やがて全国に広がり水平社結成にかかわっていくのである。



参考資料 『部落問題論への招待』
『部落史用語辞典』
『被差別部落の歴史』
『わが人生』

《おすすめ本》

『知っていますか？部落問題一問一答』

奥田 均／編著 解放出版社

誰もが疑問に思っている事を答えてくれる本です。そもそも「部落問題ってなんだろう」という初歩のことから「差別」、「人権」などにも答えてくれています。専門書のように詳しくはないかもしれませんが、まだあまり詳しく知らない方や、興味を持ったのであれば、読みやすい本ではないかと思います。



『水平社宣言の熱と光』

朝治 武／編他 解放出版社

1922(大正 11)年、全国水平社創立大会が京都で開催された、「水平社宣言」の歴史的意義を研究・解説した本も多くあるが、それらの中でも、特に「全水創立宣言の思想を歴史的にアプローチした」ものになっている。

「水平社宣言」をきちんと読んでない人はもちろん、感銘を受けた人、何度も読んだと思っている人たちも、本書の歴史的アプローチや解説・検証を読むことで、より一層の共鳴が得られることと思われる。

【展示リスト】

書名	著者	出版社	出版年
被差別部落の暮らしから	中山 英一/著	朝日新聞出版	2014
部落実態調査の書誌的研究	世界人権問題 研究センター/編	世界人権問題 研究センター	2014
部落問題と向き合う若者たち	内田 龍史/編著	解放出版社	2014
知っていますか？部落問題一問一答 第3版	奥田 均/編著	解放出版社	2013
部落・差別の歴史	藤沢 靖介/著	解放出版社	2013
部落解放を考える	友永 健三/著	解放出版社	2015
どん底	高山 文彦/著	小学館	2015
差別とアイデンティティ	畑中 敏之/編著 他	阿吽社	2013
戦後部落解放運動史	友常 勉/著	河出書房新社	2012
水平社宣言の熱と光	朝治 武/編 他	解放出版社	2012
差別感情の哲学	中島 義道/著	講談社	2015
全国のあいつぐ差別事件 2014 年度版	部落解放人権政策 確立要求中央実行 委員会/編	解放出版社	2014



「部落問題」について

1.情報検索のキーワード

部落(問題) 被差別部落 差別 同和問題 水平社

2.基本的な情報を調べる

(ア)用語・データを調べる

資料情報	請求記号	所蔵館
世界大百科事典 平凡社	031 セ	南台図書館
現代用語の基礎知識 2012 自由国民社	031 ゲ 12	南台図書館
部落史用語辞典	361.86 プ	南台図書館

(イ)テーマの棚を調べる

分類記号	分野	分類記号	分野	分類記号	分野
361.86	部落解放	361.86	同和問題	361.8	身分

(ウ)部落問題に関する図書を調べる

中野区立図書館ホームページの蔵書検索を使って調べる

→<http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

資料情報	請求記号	所蔵館
被差別部落の歴史 小林 茂／著 明石書店 1988年	361.86 コ	南台図書館
とことん！部落問題 角岡 伸彦／著 講談社 2009年	361.8 カ	南台図書館
差別用語の基礎知識 '99 高木 正幸／著 土曜美術社出版販売 1999年	361.8 タ	南台図書館

(中野区未所蔵の場合) 東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す

→<http://www.library.metro.tokyo.jp/>

(エ) 雑誌・新聞を探す

原紙(朝日・毎日・読売・産経・東京・日経)→南台図書館 1 階新聞コーナーにあります。

毎日新聞縮刷版→南台図書館 1 階カウンター横にあります。

3. 関連機関のご案内

中野区男女共同参画センター「アンサンブル」

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/danjo/index.html>

〒164-8501 東京都中野区中野四丁目 8 番 1 号 中野区役所内 1 階 9 番窓口

代表電話番号 03-3389-1111

受付時間 月曜日から金曜日までの午前 8 時半から午後 5 時まで (祝日を除く)

部落解放同盟中央本部

<http://www.blj.gr.jp/>

〒104-0042 東京都中央区入船 1-7-1

TEL 03-6280-3360

事業時間

月曜日から金曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

休業日

土曜日、日曜日、祝日、年末年始の 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

一般社団法人部落解放・人権研究所

<http://blhrri.org/>

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37 HRC ビル内

休日 日曜、祝日、土曜日、年末年始

公益社団法人 部落問題研究所

<http://www.burakken.jp/>

〒606-8691 京都市左京区高野西開町 34-11

TEL 075-721-6108



中野区立南台図書館

2015 年 10 月 31 日発行

南台図書館からのお知らせ



☆「クリスマスおはなし会」のお知らせ

日時：12月19日（土曜日）午後3時～4時

場所：南台図書館 2階 おはなしの部屋

対象：小学校低学年位まで

定員：20名

申込：不要。直接会場までお越しください。

クリスマスのお話をしたり、

サンタのカードを作ります。

楽しみにしていてね。

